

長島の「今」を伝え続けて



合併とともに生まれた広報誌

平成18年3月20日、東町と長島町が合併し、新『長島町』が誕生しました。

同時に「広報ながしま」が創刊され、約8年の時を経て今月号で、記念すべき100号を迎えました。

これまで、長島を代表する「ながしま造形美術展」などのイベントのほか、花の町として定着しつつある町内の花街道、養殖業者に甚大な被害を及ぼした赤潮など、町のさまざまな情報をタイムリーにお届けしてきました。

これまで数回のリニューアルを繰り返し、平成24年4月号では「広報ながしま」から「広報長島」と表記を改めました。

町内で開催される行事や式典、イベントなどでは写真の撮影や来場者へのインタビュなど、外での「広報マン」の活動はご存知のかたも多いでしょう。

今回は、100号を記念して、「広報長島」の編集過程を少しだけ皆さんにご紹介します。

広報誌ができるまで…

「広報長島」は、毎月皆さんのご自宅に公民館長を通じて配布されます。

「広報ってどうやって作られているの？」と疑問に思ったかたはいませんか？

7月号を例に、広報誌が出来上がるまでをまとめてみました。

5月14日 広報編集会議開催

(記念特集の内容などを協議)

6月1日 6月号作成のかたわら、7月号取材開始

6月13日 6月号発行

6月23日 7月号の編集作業開始

(取材内容を文章にまとめ、レイアウトなどを考案)

※パソコンとにらめっこする日々が続く辛い時期です。

7月1日 7月号作成のかたわら、8月号取材開始

7月3日 編集委員などに校正依頼

(発行前のラストスパート)

7月7日 校正内容に基づき修正

7月8日 校了(×切)

※完成した原稿データを印刷業者へ

7月11日 納品、発行、配布

7月中旬 8月号の編集作業開始